



海の道むなかた館年報Ⅳ

平成27年度の報告

～郷土文化学習交流館年報～



2016

宗像市教育委員会

【博物館機能】

巻頭カラー 1

◆ 常設展示室



常設展示室では、市内出土遺物などを展示し、宗像の歴史や文化を解説している。中央の企画展示ブースでは通常時、国登録有形文化財である「玄界灘の漁撈具及び船大工道具」を展示しており、特別展開催時にも展示スペースとして使用される。

◆ 特別展示室



特別展示室は通常時、「沖ノ島祭祀前夜」をテーマとして、市内にある国指定史跡田熊石畑遺跡から出土した国指定重要文化財である武器形青銅器15本を中心に展示を行っている。年に数回、さまざまなテーマによる特別展示も開催する。

平成27年度特別展

◆ 春の特別展



「日本人にかえれ 出光佐三展」
会期：平成27年3月24日(火)～5月10日(日)

◆ 秋の特別展



「鈴の文化史 ―ムナカタの考古学5―」
会期：平成27年9月29日(火)～11月15日(日)

【世界遺産ガイダンス機能】

巻頭カラー 2

◆ ガイダンス施設

本館は平成27年7月にユネスコ世界文化遺産国内推薦候補に決定した「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の宗像市における世界遺産登録推進活動の拠点となっている。通常は入島できない沖ノ島の神秘的な世界を3Dでリアルに体験できるシアターがあり、子どもにもわかりやすい歴史アニメーションも上映している。



3Dシアター

◆ 世界遺産啓発イベント

「宗像大社秋季大祭」の前月である9月を世界遺産強調月間「オガチマンス」として、土日祝日に宗像歴史観光ボランティアの会による「宗像大社辺津宮・神宝館の無料ガイドツアー」や釣川を自作の舟で下る「みあーれ川下り大会」、市民参加型ミュージカル「むなかた三女神記」などを開催した。



「みあーれ川下り大会」

「宗像大社辺津宮・
神宝館の無料ガイドツアー」



【体験学習機能】

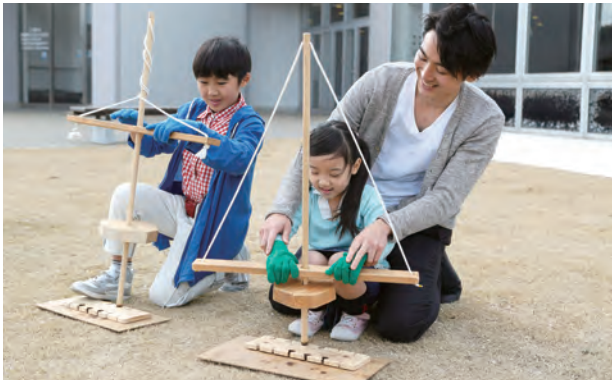
巻頭カラー 3

◆ 体験学習

海の道むなかた館では、土日祝日に「まが玉づくり」や「土笛づくり」、「古銭鑄造体験」、「火おこし体験」などの古代体験学習を開催している。



「まが玉づくり」



「火おこし体験」



「土笛づくり」

◆ 夏休み特別体験学習

海の道むなかた館では、夏休み期間中にさまざまな体験学習を開催している。トヨタ自動車九州による「モノづくり教室」や宗像市内から出土したはにわをモデルにした「はにわ貯金箱づくり」、「藍染め体験」を開催した。さらに、福岡県立宗像高等学校電気物理部や福岡教育大学と協働し、「ロボット工作」や「古代の絵画を描いてみよう！」を開催した。



「トヨタ自動車九州モノづくり教室」



「はにわ貯金箱づくり」

【交流機能】

巻頭カラー 4

◆ 陸上神幸

毎年10月1日にみあれ祭陸上神幸に参加している。宗像大社秋季大祭の海上神幸（みあれ祭）後、神湊にある頓宮から神湊郵便局までの区間を、地元小中学校やコミュニティ運営協議会、宗像大社氏子青年会などが参加し、三女神の神輿を担ぎ、行列を行う。（平成27年度は悪天候のため中止）

◆ にぎわいづくり

海の道むなかた館では、市民だけでなく、市外からの来館者を呼び込むため、夏休みイベントや秋祭り、むなかた模型作品展示会、正月イベントなどを開催し、にぎわいづくりを行った。



「トヨタ自動車九州モノづくり教室」



正月イベント「獅子舞」



「むなかた模型作品展示会」

◆ いせきんぐ宗像

（宗像市田熊石畑遺跡歴史公園）

弥生時代中期の集落「田熊石畑遺跡」を歴史公園として整備し、平成27年7月に全面オープンした。市民協働による歴史公園の管理運営に特徴があり、放課後の子どもたちを集め体験学習などを行う「村っ子づくり事業」や園内ガイド、出土品などのミニ展示を行っている。



「いせきんぐ宗像」

はじめに

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、宗像市民はもとより、市外の皆さんからも熱いご期待をいただき、平成24年4月28日に開館し、開館5年目の平成28年6月末で延べ566,738人の入館者をお迎えしました。

宗像市は、海・川・山に田畑という豊かな資源に恵まれ、原始・古代から近・現代まで、たゆまぬ歴史を刻んでおり、歴史的な文化遺産は、市内各所に数多く大切に保存されています。

当館では、それらの貴重な文化遺産を、まずは次世代に守り伝えるべく、調査・研究を行っています。また、その成果を展示や講座を通じて市民の皆さんの関心を高め、かつ楽しんでいただけるように心がけて参りました。

そして、未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化を楽しみながら学ぶ、勾玉づくりをはじめとした種々の古代体験にも力を入れています。その他にも、先端技術を学ぶロボット工作などの体験も用意して参りました。

このように、博物館としての機能を充実させる一方、宗像市が福津市や福岡県とともに推進し、平成29年度の世界遺産登録を目指す“「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群”の活動拠点施設として、そのガイダンス機能、とくに沖ノ島の臨場感溢れる3D映像を提供しています。

さらに、1年間を通して四季折々に、各種イベントを実施し、市内外の皆さんの交流の場としても活用されています。

また、宗像大社は宗像市はもとより、日本や東アジアの歴史にとって欠くことのできない存在であります。当館が宗像大社の北側に隣接しているという地の利からも、一体的な発展を願っています。

開館以来、4年余りを経過した当館の運営を振り返りますと、市内外の多くの方々に親しまれ、楽しまれたことを実感いたしますとともに、地域学芸員の皆さんの献身的なボランティア活動に頭が下がる思いがいたします。

私たち館員一同は、引き続き一丸となって、常に新しく、また、理想的な博物館像を模索しながら、市民の皆さんのご期待にそえるよう、さらに努力を重ねて参ります。

私たちの活動に対しまして、市内外の皆さんにいつそうのご理解・ご協力とご支援をお願い申し上げます。

平成28年8月16日

海の道むなかた館

館長 西谷 正

目次

1. 海の道むなかた館の概要

- (1) 建設から現在にいたる経緯 1
- (2) 沿革 1
- (3) 館の目的・機能 2
- (4) 館の利用案内 2
- (5) 館の主要施設概要 3

2. 管理運営体制

- (1) 組織 4
- (2) 郷土文化学習交流館協議会委員 5
- (3) 平成27年度決算(案) 6
- (4) 宗像市郷土文化学習交流館
建物概要 6

3. 展示

- (1) 常設展示 7
- (2) 特別展示 8
- (3) 企画展示 9
- (4) 移動博物館 10
- (5) 第2展示室展示 10
- (6) 3Dシアター 11
- (7) 展覧会 12

4. 体験学習

- (1) 古代体験学習 13
- (2) 特別体験学習 14

5. 講座

- (1) 館長講座 16
- (2) 海の道むなかた館
春の特別展トークショー 17
- (3) 海の道むなかた館
秋の特別展講演会 17
- (4) 西谷館長ギャラリートーク 17

6. 団体入館 18

7. 各種イベント

- (1) ゴールデンウィークイベント 20
- (2) 夏の課外授業
(夏休み特別体験学習) 20
- (3) 陸上神幸 20
- (4) 海の道むなかた館
秋まつり(むなかた模型作品展示会)
. 20
- (5) 正月イベント 20
- (6) 海の道むなかた館
春の特別イベント 20
- (7) ミュージアムコンサート 21

8. 利用状況

- (1) 月別入館者数 23
- (2) 学校団体入館者数 23

9. その他施設との連携 23

10. 参考資料

- (1) 宗像市郷土文化学習交流館条例 24
- (2) 宗像市郷土文化学習交流館
条例施行規則 25
- (3) 館内案内図 30
- (4) 平成27年度「海の道むなかた館」
イベントスケジュール 32

1 海の道むなかた館の概要

(1) 建設から現在にいたる経緯

宗像市郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）は、玄海文化センター（アクシス玄海）という多目的な文化施設を改修することで、生まれ変わった施設である。アクシス玄海は、平成4年に開館した。宗像大社辺津宮に隣接し、多くの集客があった。平成8年には、施設の一部を観光物産館として改修し、地産地消をモットーに地元の魚介類や農産物の直売所として、集客を誇った。その後、平成20年「道の駅むなかた」のオープンにより、物産館の機能は移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の調査室として継続されることとなった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び宗像市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月31日までは、地元の田島地区コミュニティ運営協議会が管理運営に携わっていた。

平成22年7月に宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。

なお、平成25年度は西館の一部改修と館周辺整備を行った。

(2) 沿革

平成4年(1992)	5月	玄海文化センター（アクシス玄海）開館
平成20年(2008)	6月	玄海文化センター（アクシス玄海）劣化調査の着手
	10月	玄海文化センター（アクシス玄海）劣化調査の完了
平成21年(2009)	9月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事設計委託の着手 宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画ワーキング会議の設置 宗像市郷土文化学習交流施設基本計画連携推進委員会の設置
	10月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画策定業務委託の着手
	11月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事設計委託の完了
平成22年(2010)	1月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事の着工
	2月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事の竣工
	5月	パブリックコメントの実施
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画の策定
	9月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の着手
	12月	玄海文化センター（アクシス玄海）トイレ改修工事の着工
平成23年(2011)	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の完了 玄海文化センター（アクシス玄海）トイレ改修工事の竣工
	6月	地域学芸員養成講座（初級）の開講
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設愛称募集（市民公募）
	8月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の着工
	11月	地域学芸員養成講座（初級）の開講
	12月	宗像市郷土文化学習交流館条例の制定 「海の道むなかた館」に愛称決定
平成24年(2012)	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の竣工 「海の道むなかた館」商標原簿に登録
	4月	海の道むなかた館の内覧会（4月21日） 海の道むなかた館の開館（4月28日）

平成25年（2013）	5月	海の道むなかた館西館改修外工事の着手
	6月	海の道むなかた館西館改修外工事の竣工
	7月	海の道むなかた館周辺整備工事の着工
平成26年（2014）	3月	海の道むなかた館周辺整備工事の竣工

（３）館の目的・機能

「宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画」では、館の理念を３つ掲げる。

- ①歴史文化の継承
- ②市民と協働し、連携する地域還元型の施設
- ③市域の自然や歴史文化を結ぶコア施設

これら３つの館の理念を受け、４つの機能を軸にして、館の運営を行う。

● 博物館機能

「海の道」というテーマのもとに、玄界灘の玄関口として、古代から大陸文化との交流の窓口になった宗像について、歴史や文化を時代ごとに展示する構成である。

常設展示施設（旧石器時代から近代まで）、企画展示ブース、特別展示室を通じて、宗像の歴史の歩みをわかりやすく解説する。

● 世界遺産ガイダンス機能

平成21年１月にユネスコ世界遺産の暫定リストに掲載され、平成28年１月に日本政府からユネスコ世界遺産センターに推薦書が提出された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を、3Dシアター、3Dモニター、パネル展示などを活用し、解説する。

● 体験学習機能

古代体験メニュー（火おこし、まが玉づくり、土笛づくり、古銭鑄造など）を揃え、小学生や親子連れを中心に子どもから大人まで楽しめる体験学習を実施する。

● 交流館機能

過去・現在・未来をつなぐコンセプトとして、「ものづくり」を提唱。過去のものづくりとして、歴史的な道具の変遷（常設展示等）、現在・未来については、ロボットの進化（株式会社テムザック）やクルマづくり（トヨタ自動車九州株式会社）などの展示を解説する。また、喫茶コーナーとして、“SHOP 海の道”を営業し、休憩スペースも設けている。

なお、歴史文化の中核施設としての位置づけから、宗像遺産のネットワーク化を図り、平成27年7月に「いせきんぐ宗像」としてグランドオープンした、国史跡・田熊石畑遺跡や装飾古墳である桜京古墳をはじめ、宗像大社、鎮国寺など周辺施設と連携した事業を展開する。

（４）館の利用案内

● 開館時間

午前9時から午後6時まで

（ただし、宗像市教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更することができる）

● 休館日

- ・月曜日（月曜日が祝日にあたるときは、その翌平日）
- ・12月29日から翌1月3日まで

（ただし、宗像市教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更することができる）

● 入館料

無料（ただし、特別展示等において有料となる場合がある）

● 交通アクセス

【車で】

・九州自動車道若宮インターから約20分、古賀インターから約25分

【公共交通機関で】

- ・西鉄バス「東郷駅前」バス停から、宗像大社経由・[1] 神湊波止場行き、または、[1-2] 光陽台六丁目行きバス（約20分）、「宗像大社前」バス停下車
- ・天神方面からは、特急バス「むなかた号」で「宗像大社前」バス停下車

(5) 館の主要施設概要

郷土文化学習交流館		
施設名	面積	摘要
【1階：展示】		
風除室	33㎡	ホール内への外気の侵入を防ぐ
交流係事務室	70㎡	総合案内、交流係及び世界遺産登録推進室事務室
ホール	397㎡	SHOP 海の道、世界遺産登録推進活動紹介
ロッカー室	10㎡	来館者用ロッカー
常設展示室	386㎡	宗像の歴史展示（通史）、世界遺産関係展示、企画展示
重要文化財展示室	53㎡	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財を展示
荷解室	25㎡	収蔵品や借用展示品の梱包や荷解きを行う
前室	14㎡	収蔵品や借用展示品を展示室の環境に慣らす
重要文化財収蔵庫	25㎡	重要文化財等の収蔵
3Dシアター	33㎡	沖ノ島紹介3Dシアター
ボンベ室	8㎡	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244㎡	宗像地域の自然、歴史、文化等を活用した体験学習等実施
土器復元室	42㎡	埋蔵文化財復元作業等を行う
倉庫	25㎡	体験学習関係（勾玉作り、土笛作り等）道具・材料の収納
トイレ	77㎡	男女トイレ、多目的トイレ
【1階：図書館・講義室】		
宗像市民図書館	423㎡	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を充実（深田分館）
第二展示室	110㎡	企画展示や絵画展示を行う
講義室	134㎡	文化財講座及び世界遺産推進等に関する講座等の開催
館長室	33㎡	館長室
文化財係事務室	50㎡	文化財の照会等の文化財係事務室
清掃員控室	15㎡	清掃員の控室兼休憩室
埋蔵文化財整理室	100㎡	文化財整理作業
ボランティア控室	59㎡	地域学芸員等のボランティア活動スペース
授乳室	3㎡	図書館横授乳室
トイレ	40㎡	図書館横トイレ
【2階】		
図書整理室	96㎡	（深田分館）
図書準備室	69㎡	（深田分館）
埋蔵文化財関係書庫	69㎡	酒井文庫、文化財報告書等の収蔵
郷土資料関係倉庫	31㎡	市史編纂関係資料等の収蔵
【地階：収蔵庫】		
収蔵庫	367㎡	文化財調査出土品等の収蔵
収蔵庫	41㎡	文化財調査出土品等の収蔵
機械室	25㎡	ホール用空調設備機器設置
倉庫	10㎡	文化財関係書類等保管
収蔵庫	17㎡	文化財調査出土品等の収蔵

（平成28年3月末現在）

2 管理運営体制

(1) 組織

1. 平成27年度 機構

館長 西谷 正

市民協働環境部 郷土文化課

課長 柚木 寿義

○館管理運営業務

交流係

係長 廣渡 惠三

主査 判田 博明

技師 石山 勲

技師 坂本 雄介

技師 磯部 真生

非常勤任用職員 鎌田 徳隆

○文化財業務

文化財係

係長 白木 英敏

主任技師 山田 広幸

技師 田子森 千子

技師 佐藤 正義

技師 田中 暁

再任用職員 原 俊一

○新修宗像市史編さん業務

局長 灘谷 辰生

係長 安部 裕久

非常勤任用職員 牛嶋 英俊

○世界遺産登録推業務

企画経営部 経営企画課 世界遺産登録推進室

室長 徳永 淳

係長 加地 俊博

主任技師 岡 崇

主事 日下部 裕之

主事 森 昇平(平成27年10月1日～)

2. 地域学芸員

地域学芸員は、平成23・25年度に実施した地域学芸員養成講座(初級)の修了者を対象に、館の展示解説や体験学習指導、地域遺産調査などを担ってもらっている。平成26年度には、地域学芸員養成講座(中級)を実施し、また、特別展や企画展などの展示替に応じた説明会も開催している。

平成27年度は、73人が市民ボランティアとして地域学芸員の活動しており、1回の活動に対し、1,000円の特
別旅費を支払っている。

(2) 郷土文化学習交流館協議会委員

宗像市郷土文化学習交流館条例に基づき、教育関係者、学識関係者、市民代表等で構成された委員が、館の運営に関し、必要項目を審議する機関である。

1. 第1回宗像市郷土文化学習交流館協議会

期日：平成27年10月6日(火)

会場：海の道むなかた館 講義室

報告：(1) 平成26年度第2回宗像市郷土文化学習交流館協議会議事録について

(2) 平成27年度宗像市郷土文化学習交流館事業について

(3) 平成27年度宗像市郷土文化課(文化財係)事業について

議事：平成26年度宗像市郷土文化学習交流館事業報告(年報)について

2. 第2回宗像市郷土文化学習交流館協議会

期日：平成28年3月25日(金)

会場：海の道むなかた館 講義室

報告：(1) 平成27年度第1回宗像市郷土文化学習交流館協議会議事録について

(2) 平成27年度宗像市郷土文化学習交流館事業の状況について

(3) 国内推薦『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の現状と今後について

(4) 世界遺産登録推進室の事務所移転について

議事：平成28年度宗像市郷土文化学習交流館事業計画(案)について

○宗像市郷土文化学習交流館協議会委員名簿

任期：平成26年10月1日～平成28年9月30日(平成28年3月31日現在)

	区 分	氏 名	役 職 等
1	学校教育及び社会教育の関係者	樋田 京子	太宰府市教育委員会教育委員長
2		藤 周作	玄海小学校主幹教諭
3	家庭教育の向上に資する活動を行う者	牟田 貴美子	自由ヶ丘コミュニティ運営協議会 青少年育成部会会長
4	学識経験者	亀井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
5		河窪 奈津子	宗像大社神宝館学芸員
6		藤本 幸男	東海大学福岡短期大学教授
7	市民代表	海出 耐祐	玄海地区コミュニティ運営協議会長
8		園元 かをり	市民ボランティア(地域学芸員)

(3) 平成27年度決算(案)

海の道むなかた館予算(円)	展示活用事業費	管理運営費
総額	21,765,022	34,017,986
報酬	1,822,335	3,665,800
共済費	288,213	16,051
報償費	128,000	0
賃金	0	1,692,350
旅費	2,778,200	26,000
需用費	3,112,939	11,000,295
役務費	146,140	820,594
委託料	12,212,056	13,790,006
使用料及び賃借料	1,267,139	799,010
工事請負費	0	2,163,780
備品購入費	0	29,700
負担金・補助及び交付金	10,000	0
公課費	0	14,400

(4) 宗像市郷土文化学習交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市深田588番地
階数構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造 地上3階 地下1階
敷地面積	11,082.02㎡
用途地域	準都市計画区区域内(平成24年4月1日現在)
既存建物床面積	3,973.26㎡
既存建物建築面積	2,934.38㎡
既存建物竣工年月日	平成4年3月31日
現建物床面積	3,901.42㎡
現建築面積	2,978.85㎡

3 展示

(1) 常設展示

いにしえより、人や物が絶え間なく往来した玄界灘を舞台に、悠久の歴史を刻んできた宗像。この宗像の人々が活躍した玄界灘の交易に着目し、「海の道」をテーマに宗像市における旧石器時代から現代までのさまざまな「道」について紹介する。



○展示物

【ヒトの来た道】

対象時代：旧石器時代～縄文時代

展示物：(旧石器時代) 池浦トボシ遺跡出土ナイフ形石器、田野瀬戸遺跡出土旧石器など

(縄文時代) さつき松原遺跡出土曾畑式土器、鐘崎(上八)貝塚出土鐘崎式土器など



【稲作が渡った道】

対象時代：弥生時代

展示物：東郷登り立遺跡出土弥生土器、須恵クヒノ浦遺跡出土炭化米、光岡長尾遺跡出土石包丁をはじめ市内遺跡出土の磨製石斧など



【最先端技術が渡った道】

対象時代：古墳時代

展示物：三郎丸堂ノ上C遺跡未焼成須恵器、須恵須賀浦遺跡須恵器、久原瀧ヶ下遺跡出土板状鉄斧、朝町山ノ口遺跡出土鉄鉗・金槌など



【半島・大陸との交流の道】

対象時代：古墳時代

展示物：大井三倉遺跡出土蛇行状鉄器、田野瀬戸古墳出土杏葉、浦谷古墳出土杏葉、平等寺瀬戸古墳出土馬鈴、相原古墳出土新羅土器など



【拡大する海外交流の道】

対象時代：古代～中世

展示物：武丸大上げ遺跡出土鬼瓦、久原遺跡出土陶磁器など

【街道と海女の道】

対象時代：江戸時代～現代

展示物：(江戸時代) 黒田二十四騎久野家隊列図(市指定文化財)
(現代) 海女道具一式(県指定文化財) など



○展示物

海の道むなかた館展示図録(A4版 16ページ オールカラー)

(2) 特別展示

1. 春の特別展「日本人にかえれ 出光佐三展」

内 容：宗像で生まれ育ち、世界を舞台に活躍した出光佐三。生い立ちや宗像への思いを交えながら、宗像の歴史や文化を解説した。また、特別展の開催と併せて、特別トークショーも開催した。

期 間：平成27年3月24日(火)～5月10日(日)

展示物：出光佐三が生まれ育った宗像の歴史や特色、出光佐三の生涯、出光佐三と宗像とのつながりや地域貢献の内容を紹介する展示パネル

入館料：無料

刊行物：展示解説リーフレット(A4版 両面カラー)



2. 秋の特別展

「鈴の文化史 -ムナカタの考古学5-」

内 容：縄文時代から江戸時代にわたり、福岡県内各地から出土している鈴。いろいろな種類の鈴やその意義、古文書に登場する鈴などをさまざまな視点から「鈴」を見つめ、その役割や歴史をたどる。また、特別展と併せて、特別体験学習「馬鈴づくり」も開催した。

期 間：平成27年9月29日(火)～11月15日(日)

展示物：子持ち鈴付き臚^{はそう}(宗像市伝久原澤田古墳群出土／宗像市教育委員会蔵)、五鈴鏡(県指定文化財／うきは市こうもり塚出土／九州歴史資料館蔵)、大型馬鈴(宗像市平等寺瀬戸遺跡1号墳出土／宗像市教育委員会蔵)など

入館料：無料

刊行物：『平成27年度秋の特別展 鈴の文化史 ムナカタの考古学5』

(特別展示図録 A4版 51ページ オールカラー)



(3) 企画展示

1. 「むなかた模型作品展示会」

内 容：住民・NPO・企業・行政の各主体が協力し、それぞれの立場を生かした役割分担を行いながら実施した。入場者による作品の人気投票や親子プラモ組立て教室やモノづくり教室などの特別体験学習も開催した。また、本展示会の主旨に沿う展示として、古代の模型「埴輪・土製人形」の展示を行った。

期 間：平成27年10月31日(土)、11月1日(日)

場 所：体験学習室

展示物：模型作品展示会…神社・仏閣・城郭・情景などのスケール模型、自動車・バイク模型、ロボット(キャラクター)模型など

考古展示…人物埴輪(頭)(久原遺跡Ⅱ区3号埴出土／宗像市教育委員会所蔵)、家形埴輪(久原遺跡Ⅱ区3号埴出土／宗像市教育委員会所蔵)、動物形土製品(久原遺跡Ⅱ区3号埴出土／宗像市教育委員会所蔵)など

入館料：無料



2. 「金海市大成洞博物館・海の道むなかた館交流金海大成洞古墳群パネル展 —古代東アジア交易の架け橋—」

内 容：大韓民国金海市と宗像市は、1992年に姉妹都市結縁を行っており、古来より本市と金海市の歴史的関係も深いことから、海の道むなかた館と金海市大成洞古墳博物館との交流も始まった。そのひとつの成果として、本市では正月企画展として金海市が現在、国と共に世界遺産登録を目指している加耶古墳群の構成資産のひとつ「大成洞古墳群」を紹介するパネル展を開催し、パネル展を通して金海市の歴史文化を見つめるための展示を行った。

期 間：平成27年12月22日(火)

～平成28年2月14日(日)

場 所：企画展示ブース

展示物：海の道むなかた館と金海市大成洞古墳博物館の交流報告、韓国の世界遺産、「加耶古墳群」として世界遺産登録を目指す大成洞古墳群の紹介などのパネル展示、姉妹都市関連品

入館料：無料

刊行物：展示解説リーフレット(A4版 両面カラー)



(4) 移動博物館

「弥生時代のくらし展

～むかしむかしのはなしだよ～

内 容：いせきんぐ宗像オープニングイベントの開催と併せて、弥生時代のくらしをレプリカで紹介した。

期 間：平成27年7月18日(土)

～平成27年7月19日(日)

展示場所：いせきんぐ宗像(田熊石畑遺跡歴史公園)

展示物：田熊石畑遺跡出土品展示及び解説

集客数：113人



(5) 第2展示室展示

1. 第2回滝純一絵画展

内 容：福岡教育大学名誉教授 滝純一氏の絵画作品を展示した。

期 間：平成26年9月30日(火)～平成27年7月14日(火)

展示物：『還らざる記憶』(2002年)、『鳥の翳り』(2011年)、『還らざる鳥』(1999年)など

2. 第3回滝純一絵画展

内 容：第2回に引き続き、福岡教育大学名誉教授 滝純一氏の絵画作品を展示した。

期 間：平成27年7月14日(火)～平成28年5月19日(木)

展示物：『異風景の中で』(2001年)、『過ぎる犬』(1991年)、『騎士物語(聖馬)』(2007年)など



滝純一絵画展



(6) 3Dシアター

通常は上陸することができない沖ノ島の島内の様子を3D映像でリアルに見ることができる。そのほかに、宗像大社の神事の映像や歴史アニメも上映している。

○3D映像

1. 『神宿る島』 宗像沖ノ島と関連遺産群(上映時間：18分)

500年にも及ぶ国家的祭祀、祭祀を担った宗像氏、神に捧げられた8万点もの宝物、宗像三女神の誕生、今も息づく宗像大社の信仰など、世界的な資産価値を有する「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群をわかりやすく解説。



2. 「宗像大社の神事一人々の信仰と祈り」(上映時間：13分)

沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神を載せた2隻の御座船と宗像七浦の船団により繰り広げられる「みあれ祭」をはじめ、古代の信仰を今に引き継ぐ宗像大社のさまざまな神事を紹介。



3. 「沖ノ島の自然－太古の姿をそのままに－」(上映時間：8分)

沖ノ島全島は、1926年(大正15年)に国の天然記念物に指定されており、現在も禁忌によって人の往来が厳しく制限されているこの島では、絶滅が危惧されている植物が繁殖し、市の鳥でもあるオオミズナギドリの大繁殖地となっていることなどを紹介。



4. アニメ「海の民 ムナカタ」

マンガ「海の民宗像」(梓書院)を原作とし、古代において日本と大陸との活発な対外交流の舞台であった宗像の歴史や宗像の海に生きた人々について紹介。(フィクション)

第1話「玄界灘の守り神」(上映時間：9分)

第2話「海人の都ムナカタ」(上映時間：7分)

第3話「ムナカタとヤマトをつないだ海人」(上映時間：13分)

第4話「玄界灘の軍神」(上映時間：10分)

第5話「海の民ムナカタ」(上映時間：11分)

総集編 (上映時間：18分)



平成27年度3Dシアター入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入場者数	3,393	3,047	1,151	1,138	2,235	2,830	2,969	3,161	964	1,410	1,416	1,445	25,159
上映回数	350	310	159	243	385	392	350	322	205	247	231	286	3,480

○おはなし会「はるかな島のものがたり」

毎月第3土曜日15：15から3Dシアターにおいて、絵本「はるかな島のものがたり」の読み聞かせを行った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入場人数	15	9	12	21	19	14	13	11	6	20	11	17	168

(7) 展覧会

(1) 田熊山笠絵画展

期 間：平成27年7月14日(火)～7月24日(金)

展示場所：体験学習室

展示内容：毎年7月に開催される田熊山笠を題材に、東郷小学校の児童が描いた絵を展示した。

(2) 世界遺産登録推進室企画

「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」 国内推薦候補決定記念写真展

期 間：平成27年7月29日(水)～9月27日(日)

展示場所：常設展示室 企画展示ブース

展示内容：「JAL SKYWARD 2012 年 1 月号」に特集された沖ノ島や宗像大社の写真を展示した。

(3) 第63回 福岡県小学校児童画展 福岡県入選作品展覧会(宗像区)

期 間：平成28年1月15日(金)～1月28日(木)

展示場所：体験学習室

展示内容：福岡県小学校児童画展の「福岡県入選」作品(宗像市・福津市児童分)を展示した。

(4) 宗像市・福津市・レッジョエミリア市 第3回イタリア交流児童画展

期 間：平成28年1月29日(金)～2月11日(日)

展示場所：体験学習室

展示内容：宗像市・福津市とレッジョエミリア市の交流事業の一環として、両国の児童が描いた絵を展示した。

(5) 「北斗の水くみ」写真展

期 間：平成28年2月16日(火)～3月31日(木)

展示場所：渡廊下

展示内容：水平線上に沈む北斗七星が柄杓で水を汲むように見える、世界的にも珍しい天体である「北斗の水くみ」の写真を公募し、入選作品を展示した。



田熊山笠絵画展



「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」
国内推薦候補決定記念写真展

4 体験学習

(1) 古代体験学習

毎週末及び祝日、イベント等で実施。

○まが玉づくり体験

内容：爪でも削れるやわらかい石・滑石を使用し、粗さの違う3枚の紙やすりで磨いて作る。イベント等では、ピンクや黒、特大の石も用意し、選べるまが玉づくりを開催した。

料金：100円（選べるまが玉づくりでは、100円～300円）

○火おこし

内容：舞ギリという火おこしの道具を使用し、舞ギリ式の火おこしを行う。

料金：100円

○土笛づくり

内容：光岡長尾遺跡から出土した土笛をモデルに、オープン粘土を使用して、土笛をつくる。

料金：100円

○古銭鑄造

内容：宗像市三郎丸今井城遺跡から出土した、和同開珎、万年通宝、神功開宝をモデルに製作した型と低温で融解する金属を使用し、古銭をつくる。

料金：100円

○化石発掘体験

内容：宗像吉留でサイの祖先とされる日本最古の「ヒラキウス」の化石が発見されたことから、化石を発掘する体験を行う。

料金：100円

○馬鈴づくり

内容：宗像市平等寺瀬戸古墳から出土した馬鈴をモデルに製作した型を使用し、オープン粘土を使用して作る。イベント時に実施。

料金：100円

○土器づくり

内容：宗像市内各地から出土した土器などをモデルに、オープン粘土を使用して土器をつくる。イベント時に実施。

料金：100円

平成27年度 体験学習月別集計表

	まが玉づくり		古銭鑄造		火おこし		土笛づくり		化石発掘体験		土器づくり		馬鈴づくり	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料
4月	22		8	12	10		28	12	9					
5月	116	254	16		3	72	25		50					
6月	51	455	2		2		12	79						
7月	131		4		10		14							
8月	345		23		14		64							
9月	75		42		5		0							
10月	43	17	6		3		14		27				8	
11月	176	34	12		5		14						1	
12月	9	8	14		3		16							
1月	112		24		18		0				22			
2月	73	30	29		6		14							
3月	49		7	10	0		20							
合計	1,202	798	187	22	79	72	221	91	86	0	22	0	9	0
体験別合計	4,000		418		302		624		172		44		18	

(2) 特別体験学習

○トヨタ自動車九州モノづくり教室 ～衝突軽減バンパーをつくろう～

日 程：平成27年7月25日(土)、26日(日)

料 金：無料

参加者：142人

トヨタ自動車九州モノづくり教室と協働で開催。

衝突時の衝撃を和らげるバンパーをつくり、自動車におけるその原理や役割を学んだ。



トヨタ自動車九州モノづくり教室

○はにわ貯金箱づくり

日 程：平成27年8月2日(日)

料 金：500円

参加者：28人

宗像の古墳からも見つかった「はにわ」。なぜつくられたのかを考えながら、はにわの作り方を学んだ。



ストーンアート

○ストーンアート

～石に古代の絵画などを描こう！～

日 程：平成27年8月9日(日)、15日(土)

料 金：無料

参加者：54人

福岡教育大学と協働で開催。古代の絵の具について学び、宗像市牟田尻にある桜京古墳のように石に古代の文様や絵を描いた。



藍染め体験

○藍染め体験

～コースターとハンカチを染めよう～

日 程：平成27年8月16日(日)、22日(土)

料 金：1,000円

参加者：29人

むなかた館で栽培した藍を使って、コースターとハンカチを染色する藍染め体験を行った。

○ロボット工作

(光センサー・プログラミングカー)

日 程：平成27年8月23日(日)

料 金：3,000円

参加者：10人

福岡県立宗像高等学校電気物理部の部員と協働で開催。工作やプログラミングを行い、ロボットの歴史や種類、そのあり方について学びも学んだ。



ロボット工作
(光センサープログラミングカー)

○むなかた模型作品展示会 特別体験学習

日 程：平成27年10月31日(土)、11月1日(日)

むなかた模型作品展示会と連動して、特別体験学習を開催。

- ・トヨタ自動車九州モノづくり教室「ホバークラフトづくり」

参加費：無料

参加者：69人

- ・山梨ワイン振興会「親子プラモ組立教室」

参加費：無料

参加者：20組

- ・日本紙飛行機協会宗像支部「紙飛行機作り・記録会」

参加費：50円

参加者：32人



親子プラモ組立教室

○石けんで石剣づくり

正月イベントや春の特別イベントにて開催。宗像市田熊石畑遺跡から出土した石剣をモデルに、エコ石けんを削って石剣を作った。

料 金：無料



石けんで石剣づくり

5 講座

(1) 館長講座

概要：海の道むなかた館では、西谷正館長による講座を毎月1回開催した。古代の朝鮮半島の歴史について、時代ごとにテーマを設けて、朝鮮半島の歴史を考古学的成果をふまえ、日本との比較を交えながらわかりやすく解説した。

演題：「古代の朝鮮半島」

回数：12回

会場：海の道むなかた館 講義室(体験学習室)

時間：13時30分から2時間程度

受講料：無料

定員：各回80名

受講者数：計789名

回数	月 日	内 容
第1回	平成27年 4 月12日(日)	三国時代新羅の都城と山城
第2回	平成27年 5 月 3 日(日)	真興王の拓境碑と古墳・山城
第3回	平成27年 6 月14日(日)	新羅古墳の変遷
第4回	平成27年 7 月12日(日)	新羅の寺院と仏像
第5回	平成27年 8 月 2 日(日)	新羅の鉄と鉄器の生産
第6回	平成27年 9 月13日(日)	新羅の国際性
第7回	平成27年10月11日(日)	三国時代加耶の諸問題
第8回	平成27年11月 7 日(土)	加耶土器の地域性と編年
第9回	平成27年12月13日(日)	金海の遺跡群
第10回	平成28年 1 月10日(日)	咸安の遺跡群
第11回	平成28年 2 月14日(日)	高霊の遺跡群
第12回	平成28年 3 月13日(日)	「任那日本府」説の考古学的検討

(2) 海の道むなかた館春の特別展トークショー

概要：春の特別展「日本人にかえれ・出光佐三展」の開催にあわせて、トークショーを行った。

日程：平成27年4月28日(火) 14時00分～15時00分

演題：「出光佐三 熱き言葉に託された思い」

登壇者：水木 楊(作家)、伊藤 聡子(フリーキャスター)

(3) 海の道むなかた館秋の特別展講演会

概要：秋の特別展「鈴の文化史—ムナカタの考古学5—」にあわせて講演を行った。

日程：平成27年10月4日(日) 13時30分から2時間程度

演題：「出土鈴からみた古代の国際交流」

講師：桃崎 祐輔(福岡大学人文学部歴史学科・教授)

受講者数：65名

(4) 西谷館長ギャラリートーク

概要：正月三が日には、お正月企画展にちなみ「金海(キメ)」をテーマにした、西谷正館長によるギャラリートークを開催した。

日程：平成28年1月1日(金)～1月3日(日) 10時から1時間程度

演題：1月1日(金)「ムナカタ国と狗邪韓国」

1月2日(土)「金海の大成洞古墳群」

1月3日(日)「金海とムナカタ」

受講者数：64名

出光佐三展 特別トークショー

入場無料

出光佐三
(出光興産株式会社創業者)

熱き言葉に
託された思い

登壇者 水木 楊氏(作家) × 伊藤 聡子氏(フリーキャスター)

展示会「日本人にかえれ・出光佐三展 ～市舶の地・富樫から世界へ～」会期中の4月28日(火)に、トークショーを開催いたします。
「出光佐三 反骨の言葉(ことば)日本人としての誇りを貫いた男の生涯」(PHPビジネス新書)を執筆された水木楊氏に、出光佐三の「熱き言葉」をご紹介いただきながら、世界を相手に激動の時代を戦い生き抜いた佐三の人柄などについてお話しいただきます。進行担当は数々の報道情報番組でおなじみの伊藤聡子氏です。

水木 楊
1977年上海生まれ。日本経済新聞社に入社後、外務省・国連・大蔵省など国際関係に関する報道・編集・執筆。編集長経験後、フリーランスとして活動。海外特派員経験あり。NHK朝日放送局など、テレビ朝日放送局、NHK放送局で記者として勤務。著書『中国の未来』など多数あり。

伊藤 聡子
1978年新潟県生まれ。大学で文学部を専攻。卒業後、NHK新潟放送局で記者として勤務。その後、フリーランスとして活動。著書『中国の未来』など多数あり。NHK朝日放送局など、テレビ朝日放送局で記者として勤務。著書『中国の未来』など多数あり。

開催日時：2015年4月28日(火) 14:00～15:00(開場13:30)
会場：海の道むなかた館(〒811-3504 福岡県宗像市深田58番地)
定員100名
入場無料
(申込先着順・先着100名)

お問い合わせ：宗像市総務政策課 TEL:0940-36-1055

春の特別トークショー



館長講座



西谷館長ギャラリートーク

6

団体入館

No.	日付	旅行社名・ツアー名	人数
1	5月19日	朝日旅行	10
2	5月20日	関東読売旅行「茨城空港利用北九州ごちそうの旅 伊万里・唐津」	29
3	5月29日	関東読売旅行	43
4	6月25日	阪急交通社	41
5	6月26日	阪急交通社「ミステリーツアー」	33
6	6月27日	阪急交通社「ミステリーツアー」	43
7	7月4日	阪急交通社「ミステリーツアー」	43
8	7月18日	阪急交通社	41
9	7月19日	阪急交通社	46
10	7月29日	阪急交通社「ミステリーツアー」	40
11	7月30日	阪急交通社	36
12	8月1日	阪急交通社	41
13	8月7日	阪急交通社「ミステリーツアー」	43
14	8月13日	朝日旅行	14
15	8月14日	朝日旅行	9
16	8月28日	阪急交通社「ミステリーツアー」	42
17	8月29日	阪急交通社	41
18	9月2日	阪急交通社	40
19	9月5日	阪急交通社	35
20	9月6日	阪急交通社	43
21	9月10日	関東読売旅行	40
22	9月12日	阪急交通社	34
23	9月26日	阪急交通社	34
24	9月27日	防長トラベル	25
25	9月29日	阪急交通社「ミステリーツアー」	40
26		クラブツーリズム	21
27	9月30日	朝日旅行	15
28		クラブツーリズム	14
29	10月1日	阪急交通社「ミステリーツアー」	40
30	10月2日	関東読売旅行	30
31	10月3日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	46
32	10月4日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	46
33	10月7日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	43
34	10月10日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	46
35	10月11日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	46
36		クラブツーリズム	65
37	10月15日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	44
38	10月18日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	49
39	10月20日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	43
40	10月21日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	45
41	10月29日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	48
42	10月31日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	46
43	11月1日	クラブツーリズム「唐津くんちとバルーンフェスタ3日間の旅」	13

44	11月4日	クラブツーリズム	39
45		第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	48
46	11月7日	シティライントラベル	42
47		第一観光「新・奴国展と宗像と八幡製鐵所 日帰り」	102
48		第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	39
49	11月8日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	27
50	11月10日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	41
51	11月15日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	47
52	11月17日	第一観光「新・奴国展と宗像と八幡製鐵所 日帰り」	48
53	11月19日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	50
54	11月21日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	45
55	11月22日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	48
56	11月22日	第一観光「芦屋基地航空祭2015」	220
57	11月26日	第一観光「新・奴国展と宗像と八幡製鐵所 日帰り」	22
58	12月1日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	41
59	12月2日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	44
60	12月5日	第一観光「新・奴国展と宗像と八幡製鐵所 日帰り」	80
61		第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	47
62	12月6日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	47
63	12月12日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	44
64	12月19日	シティライントラベル	41
65	1月1日	阪急交通社「2016福岡3社参り 日帰り」	28
66	1月2日	阪急交通社「2016福岡3社参り 日帰り」	43
67	1月6日	阪急交通社「2016福岡3社参り 日帰り」	27
68	1月7日	阪急交通社「2016福岡3社参り 日帰り」	37
69	1月8日	阪急交通社「2016福岡3社参り 日帰り」	25
70	1月9日	阪急交通社「2016福岡3社参り 日帰り」	30
71		第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	47
72	1月10日	阪急交通社「2016福岡3社参り 日帰り」	46
73	1月16日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	46
74	1月17日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	47
75	1月19日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	47
76	1月21日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	43
77	1月23日	第一観光「祝！ユネスコ世界遺産登録推薦記念ツアー」	45
78	2月11日	北斗観光	24
79	2月12日	日本旅行「ななつ星 in 九州」	21
80	2月14日	北斗観光	23
81	2月23日	シティライントラベル	20
82	3月6日	クラブツーリズム「瀬戸内海の古代史と水軍の歴史を探る」	7
83	3月15日	クラブツーリズム 「古代史探訪 世界遺産暫定リスト宗像・沖ノ島と関連遺産群を行く3日間」	23
84	3月23日	防長トラベル	45
合 計			3,422

7 各種イベント

(1) ゴールデンウィークイベント

日 程：平成27年5月2日(土)～5月6日(水)

内 容：通常の体験学習をすべて開催。まが玉づくりは選べるまが玉づくりに変更して行った。また、5月中は通常の体験学習に加え、化石発掘体験も毎週開催した。

入館者数：4,270人

(2) 夏の課外授業(夏休み特別体験学習)

日 程：平成27年7月20日(月・祝)～8月30日(日) ※夏休み期間中

内 容：トヨタ自動車九州モノづくり教室やストーンアート、はにわ貯金箱づくりなどを開催した。

備 考：P.14 参照

(3) 陸上神幸

日 程：平成27年10月1日(金)

内 容：宗像大社のみあれ祭の後、地元のコミュニティや小中学生、宗像大社氏子青年会などの奉仕者が、奉行や巫女、稚児の衣装を身に纏い、神湊の頓宮から神湊郵便局まで、宗像三女神のご神体を乗せた神輿を担ぐ。

※平成27年度は、悪天候のため中止となった。

(4) 海の道むなかた館秋まつり(むなかた模型作品展示会)

日 程：平成27年10月31日(土)～11月1日(日)

内 容：模型作品展示会にあわせて、トヨタのモノづくり教室やプラモデルの組立教室を開催した。また玄関前では、「青空マルシェ in むなかた館」を開催し、宗像産の物産販売ブースやフードコートを開設した。

入館者数：2,895人

(5) 正月イベント

日 程：平成28年1月1日(金)～1月3日(日)

内 容：「土器づくり」、「石けんで石剣づくり」などの正月特別体験学習や獅子舞を行った。また、玄関前では、飲食の出店ブースも開設した。

入館者数：3,186人

(6) 海の道むなかた館春の特別イベント

日 程：平成28年3月18日(金)、3月19日(土)

内 容：ミュージアムコンサートや世界遺産のおはなし会をメインイベントとして、その他にナイトミュージアムツアーや体験学習を行った。また、玄関前では、飲食の出店ブースも開設した。

入館者数：1,174人

(7) ミュージアムコンサート

館への集客と文化振興のため、2ヶ月に1回(奇数月)、宗像にゆかりのあるアーティストや団体等を招き、コンサートを開催した。

1. VOL.17 ～新緑に染みる、海のメロディー～

日 時:平成27年5月15日(金) 18:30～19:30

出演者:福岡教育大学ギター・マンドリンクラブ

入場者数:50名

2. VOL.18 ～日本の心、魂の声を聴く～民謡の夕べ

日 時:平成27年7月17日(金) 18:30～19:30

出演者:宗像市民謡協会

入場者数:39名

3. VOL.19 ～ギター&ソプラノ～

アコースティックナイト

日 時:平成27年9月18日(金) 18:30～19:30

出演者:橋口 武史(ギター)、重住 千寿香(コーラス)

入場者数:135名



VOL.17～新緑に染みる、海のメロディー～



VOL.18～日本の心、魂の声を聴く～
民謡の夕べ



VOL.19～ギター&ソプラノ～
アコースティックナイト

4. VOL.20 ～魅惑のボサノヴァ～

日 時：平成27年11月20日（金） 18：30～19：30

出演者：o sabia（オ サビア）

参加者数：100名

5. VOL.21 ～新春恒例和のしらべ～

尺八と箏の演奏会

日 時：平成28年1月15日（金） 18：30～19：30

出演者：矢野 径山（尺八）、富久 歌紅（箏）

参加者数：35名

6. VOL.22 ～絵本コンサート in MUNAKATA

日 時：平成28年3月18日（金） 18：30～19：30

出演者：重岡 美千代（語り）、大塚 陽子（フルート）、
伊藤 雅美（ピアノ）、佐藤 譲（パーカッション）

参加者数：42名



VOL.20 ～魅惑のボサノヴァ～



VOL.21 ～新春恒例和のしらべ～
尺八と箏の演奏会



VOL.22 ～絵本コンサート in MUNAKATA

8 利用状況

(1) 月別入館者数

○海の道むなかた館入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成27年度	15,685	15,362	11,368	12,356	13,182	14,352	16,144	15,043	9,169
累計	393,580	408,942	420,310	432,666	445,848	460,200	476,344	491,387	500,556
						1月	2月	3月	合計
						14,063	10,027	11,286	158,037
						514,619	524,646	535,932	535,932

(2) 学校団体入館者数

(市内小学校)

学校名	学年 人数	1年生 人数	2年生 人数	3年生 人数	4年生 人数	5年生 人数	6年生 人数	クラブ活動 人数	学校別 合計
吉武小学校							14		14
赤間小学校			150				148		298
河東小学校							103		103
南郷小学校							38		38
東郷小学校							96		96
日の里東小学校			53				54		107
日の里西小学校							72		72
自由が丘小学校						100	78		178
赤間西小学校			83	70					153
自由が丘南小学校							66		66
河東西小学校						30	91		121
玄海小学校			21				10	8	39
玄海東小学校			15				34		49
地島小学校			2						2
大島小学校		1	6	4	6	5	7		29
学年別		1	6	328	76	135	811	8	1,365

(市内中学校)

学校名	学年 人数	1年生 人数	2年生 人数	3年生 人数	合計
中央中学校(特別支援学級)		10			10
玄海中学校		42			42
福岡県立宗像中学校		79			158
		79			
学校別		210	0	0	210

9 その他施設との連携

市内にある各種施設の事業への参加

(1) 福岡県立宗像高等学校

○文化祭

平成27年5月30日(土)

いせきんぐ宗像や宗像高校内にある四塚会館展示室を見学するガイドツアーや火おこし、まが玉づくり体験を行った。

(2) 福岡県立玄海少年自然の家「玄海の家」

○玄海わくわくフェスタ

平成27年11月23日(月・祝)

玄海の家にて開催した「玄海わくわくフェスタ」に参加し、まが玉づくり体験を行った。

10 参考資料

(1) 宗像市郷土文化学習交流館条例

平成23年12月28日

条例第23号

(設置)

第1条 地域の文化的資源である歴史、民俗、自然等に関する資料（以下「資料」という。）を収集し、保管し、調査研究の成果を集積し、及び展示してその教育的活用を図り、もって市民の教育、学術及び文化の振興に寄与するため、宗像市郷土文化学習交流館（以下「交流館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 交流館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
宗像市郷土文化学習交流館	宗像市深田

(事業)

第3条 交流館は、次に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 交流館の事業の企画及び実施に関すること。
- (2) 資料の貸出し等に関すること。
- (3) 学校、地域等が実施する教育的活動との連携に関すること。
- (4) 世界遺産登録推進活動に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、交流館の設置の目的達成に必要な事業に関すること。

(職員)

第4条 交流館に館長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第5条 宗像市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、次の各号のいずれかに該当するときは、交流館の入館を拒み、又は交流館からの退去を命ずることができる。

- (1) 管理運営上の指示又は指導に従わないとき。
- (2) その他管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第6条 交流館に入館した者が、その責めに帰すべき事由により、施設、附属設備、展示品若しくは資料を破損し、滅失し、又は汚損したときは、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(協議会)

第7条 交流館の運営に関し必要な事項を審議するため、宗像市郷土文化学習交流館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、8人以内の委員をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験者
- (4) 市民代表

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成24年4月28日から施行する。

(2) 宗像市郷土文化学習交流館条例施行規則

平成24年1月12日

教育委員会規則第2号

改正 平成25年1月22日教委規則第1号

平成27年3月18日教委規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、宗像市郷土文化学習交流館条例（平成23年宗像市条例第23号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 宗像市郷土文化学習交流館（以下「交流館」という。）の開館時間は、午前9時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、宗像市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に開館することができる。

(休館日)

第3条 交流館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日にあたるときは、その翌日

(2) 12月29日から翌年1月3日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(遵守事項)

第4条 交流館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 館内で喫煙をし、又は火気を使用しないこと。

(2) 定められた場所以外での飲食をしないこと。

(3) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 前各号に定めるもののほか、交流館の管理及び運営に必要な指示に反する行為をしないこと。

(資料の貸出し)

第5条 教育、学術又は文化に関する団体等であって、資料の貸出しを受けようとするものは、宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

3 資料の貸出しを受けた者は、教育委員会の指示に従い当該資料を管理するとともに、それを転貸してはならない。

(資料の撮影等)

第6条 資料の撮影、拓本、模写、模造、複製、実測図作製等をしようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

(寄贈又は寄託)

第7条 交流館は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 交流館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書(様式第3号)により教育委員会に申し込まなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の規定による申込みがあったときは、その可否を決定し、申込者に通知するものとする。
- 4 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に通知するものとする

(寄贈等資料の取扱い)

第8条 寄贈又は寄託を受けた資料の取扱いは、特別の定めがあるものを除き、交流館が管理する一般の資料と同じ取扱いとする。

- 2 寄託を受けた資料が、天災地変その他不可抗力により破損し、滅失し、又は汚損した場合は、教育委員会はその賠償の責めを負わない。
- 3 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、寄託を受けた資料を返還することができる。
 - (1) 寄託期間が満了したとき。
 - (2) 寄託者から返還の請求があったとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認めたとき。

(協議会)

第9条 条例第7条に規定する宗像市郷土文化学習交流館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長1人を置くこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。
- 5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。
- 6 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 7 協議会の庶務は、市民協働環境部郷土文化課において処理する。
- 8 前各号に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(平25教委規則1・平27教委規則6・一部改正)

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成24年4月28日から施行する。

附 則(平成25年1月22日教委規則第1号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月18日教委規則第6号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

様式第1号(第5条関係)

宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書

宗像市教育委員会 あて

住所
申請者 氏名
印
電話番号

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、貸出しを受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 貸出しを受けようとする目的

3 貸出しを受けようとする期間

年 月 日(曜日)から
年 月 日(曜日)まで

4 損害賠償等について

- (1) 資料は、借用期間中は教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。
- (2) 資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

様式第2号(第6条関係)

宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書

宗像市教育委員会 あて

住所
申請者 氏名
印
電話番号

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、撮影等を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 撮影等の目的

3 撮影等の期間

年 月 日(曜日)から
年 月 日(曜日)まで

4 損害賠償等について

- (1) 資料の撮影等を行うときは、借用期間中は教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。
- (2) 資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

様式第3号(第7条関係)

宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書

宗像市教育委員会 あて

	住所
申請者 氏名	印
	電話番号

宗像市郷土文化学習交流館における調査研究及び展示の用に供する資料として(寄贈・寄託)したいので、
下記のとおり申請します。

記

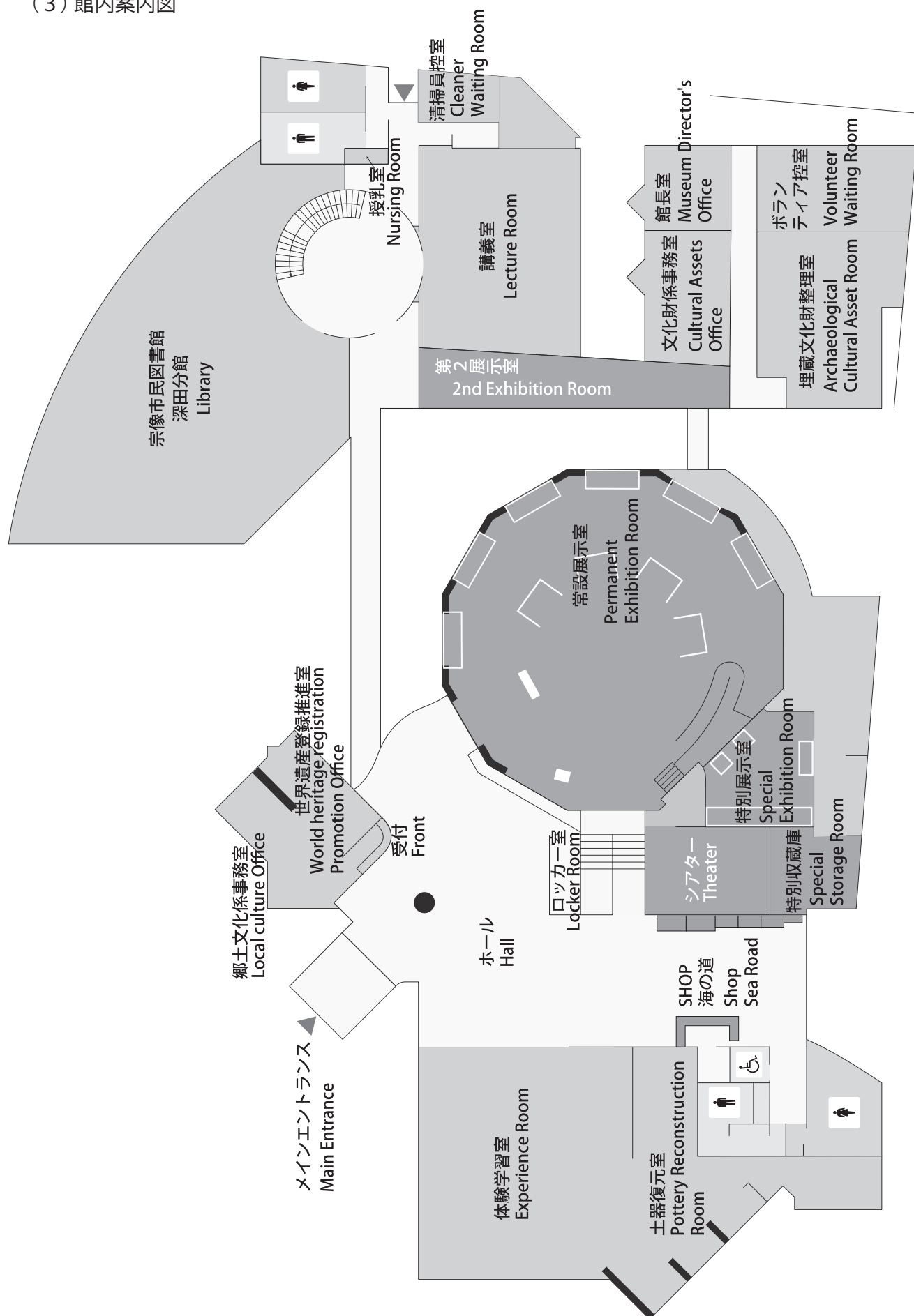
1 資料の名称及び員数

2 寄贈・寄託の別

寄贈・寄託

3、特別事項(条件)等

(3) 館内案内図





ホール



体験学習室



SHOP 海の道



3D シアター



常設展示室



特別展示室



第2展示室



講義室

(4) 平成27年度「海の道むなかた館」イベントスケジュール

平成27年

			4月				5月				6月				7月				8月				
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
海の道むなかた館	施設展示	特別展示	春の特別展 「日本人にかえれ 出光佐三展」																				
		企画展示																					
		レギュラーイベント	●				●				●				●				●				
		【館長講座】 【ミュージアムコンサート】						●							●					●			
		主要イベント					●	ゴールデンウィーク特別体験								●	いせきんぐ オープニングイベント						
			第2展示室 滝 純一 絵画展																夏休みイベント (特別体験学習等) ○トヨタ九州モノづくり教室 ○はにわ貯金箱づくり ○ストーンアート ○藍染め体験 ○ロボット工作 ○まが玉づくり				
世界遺産	世界遺産関係	世界遺産登録推進活動					●	世界遺産推進会議幹事会															
															●	世界遺産市民の会総会							
			世界遺産登録推進室企画展 「“神宿る島”宗像・沖ノ島と 関連遺産群 国内推薦候補 決定記念写真展」																				
その他連携	学校向け	市内小学校 ※年間を通じて受入実施	市内小学校 受け入れ(ハイシーズン)																				
		市外社会科見学 ※年間を通じて受入実施	市外小学校等 受け入れ																				
	他施設連携	共同PR、 共同集客企画	●	春の観光 キャンペーン 連携							●	福岡県立宗像高校文化祭						●	夏の課外授業 連携				
地域の行事	地域の行事	宗像大社 鎮国寺					●	五月祭				●	沖津宮現地大祭						●	大祓式・夏越祭			
		その他	花まつり				●	柴灯大護摩供										●	中津宮 七夕				

平成28年

9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
				秋の特別展 「鈴の文化史—ムナカタの考古学5—」																							
																正月企画展「金海市大成洞古墳博物館・海の道むなカタ館交流—金海大成洞古墳群パネル展」											
	●				●				●				●				●								●		
		●								●				●											●		
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	
																										●	



海の道むなかた館年報Ⅳ 平成27年度の報告
～郷土文化学習交流館年報～

発 行：2016 年 8 月 16 日

発行者：海の道むなかた館

（郷土文化学習交流館 宗像市教育委員会）

TEL：0940-62-2600 FAX：0940-62-2601

印 刷：インプレッション株式会社

TEL：0940-51-2187 FAX：0940-36-9013

「神宿る島」 宗像・沖ノ島と 関連遺産群

日本列島と朝鮮半島を結ぶ海域に
荘厳な姿を現す沖ノ島。

人々は古来、その島を敬い、畏れ、
祈りを捧げてきた。

五百年もの間営まれた祭祀の跡は、
その後、千年以上経ったいまも

当時の姿を残している。

国宝に指定された神への奉獻品は
八万点に及ぶ。

厳格な禁忌が今も受け継がれ、
立ち入りは許されない。

信仰の場は沖ノ島から大島 本土の三か所に広がり、
海の安全をつかさどる宗像三女神が鎮座する。

沖ノ島を含む三つの信仰の場からなる宗像大社と
沖ノ島祭祀を行った人々が眠る新原・奴山古墳群は
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群として
世界遺産登録を目指している。



沖ノ島(宗像大社沖津宮)



沖津宮遙拝所



宗像大社中津宮



宗像大社辺津宮



新原・奴山古墳群

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を世界遺産に
「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議
www.okinoshima-heritage.jp